

分野	環境	施策	ごみ処理	
分野計画名称	一般廃棄物処理基本計画		行政経営戦略 参照ページ	P69

施策の展開（大項目）	1ごみ減量の推進					
KPI （指標）	1人1日あたりのごみ排出量					
	推移の方向性	基準値	令和2年度 結果	令和3年度 結果	令和4年度 結果	目標値（令和7年度）
	減少	997g	966g	968g		

中項目	1食品ロスの削減		分野計画参照ページ	P37
関連する主な事業	令和3年度 の取組実績		分析・考察	
ごみ減量対策事業 環境業務課	<ul style="list-style-type: none"> <li>食品ロス削減に向け、6月及び10月に市民団体と共催により市役所や市内公共施設においてフードドライブを実施し、回収拠点を増設をしたことにより計1,201点（企業協賛分除く）の食品提供があった。10月の食品ロス削減月間においては、コミュニティプラザで市民団体と共催による食品ロス削減啓発パネル展を合わせて開催した。</li> <li>12月・1月のおいしい食べきり全国共同キャンペーンと連動し、収集車へのマグネットポスター、公共施設でのポスター掲示を実施した。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>食品提供数の増加は回収拠点を10箇所としたことや各種啓発によるものと考えられるため、引き続き、多くの回収拠点を設けてフードドライブを実施するとともに、パネル展等で啓発を推進する。</li> <li>組成分析結果から、未利用食材直接排出量は115tと推計しているため、計画的な買い物の仕方や食材の利用方法等を啓発していく必要がある。</li> <li>飲食店に対して、食べきり運動等の取組や小盛メニューの導入を促進していく必要がある。</li> </ul>	

中項目	2レジ袋使用量の削減		分野計画参照ページ	P39
関連する主な事業	令和3年度 の取組実績		分析・考察	
ごみ減量対策事業 環境業務課	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報紙及びホームページでレジ袋有料化を周知するとともに、マイバッグの持参を啓発し、スーパーにおけるマイバッグ持参率は77.9%であった。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>マイバッグ持参率は北摂7市3町の平均83.9%を下回っているため、イベントでのマイバッグ持参啓発など、レジ袋削減に関する啓発を強化する必要がある。</li> </ul>	

中項目	3市民意識の高揚		分野計画参照ページ	P39
関連する主な事業	令和3年度の取組実績	分析・考察		
<b>ごみ減量啓発事業</b> 環境業務課	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内10小学校の小学校4年生を対象に、ごみ減量化に関するポスターを募集し、689名が参加した。</li> <li>コミュニティプラザ及び別府コミュニティセンターでごみ減量化・環境絵画展を開催し、募集したポスターを展示した。</li> <li>別府コミュニティセンターでもったいナインの紙芝居&amp;リサイクル工作を開催した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1人1日当たり家庭系ごみ排出量は、466g（前年度比-9g）となっており、更なる減量に向け、広域化に伴い全戸配布する新たな分別等に関するガイドブックに啓発を盛り込むなど、効果的な広報・啓発を実施していく必要がある。</li> </ul>		

中項目	4事業者意識の高揚		分野計画参照ページ	P43
関連する主な事業	令和3年度の取組実績	分析・考察		
<b>ごみ減量啓発事業</b> 環境業務課	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業系もやせるごみの組成分析を実施し、古紙類等の資源化により減量が図れる品目の整理を行った。</li> <li>事業系ごみ排出量は、12,327t（前年度比+427t）であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業系ごみ排出量は、令和2年度が新型コロナウイルス感染症の影響により、例年より少なかったため増加している。</li> <li>排出されたごみには、減量可能なごみも含まれることから、「事業者用ごみ減量・リサイクルの手引き」を配布するとともに、必要に応じて戸別訪問等を実施していく必要がある。</li> <li>飲食店に対して、食べきり運動等の取組や小盛メニューの導入を促進していく必要がある。</li> </ul>		
<b>ごみ処理施設維持管理事業</b> 環境センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業系一般廃棄物の搬入時に、ごみピット前において紙資源の分別指導を実施するとともに、搬入されるごみの内容の聞き取りや目視、カメラによる監視を実施した。</li> <li>一般廃棄物収集運搬許可業者のパッカー車2台に対しごみの展開検査を実施し、適正処理困難物の搬入が確認されたので、適正分別及び収集を指導した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業系一般廃棄物として紙資源の搬入が散見されるため、引き続き紙資源の分別指導を行うとともに、搬入されるごみの適正分別を図るため、監視を実施する。</li> <li>搬入されるごみの適正分別を図るため、引き続き一般廃棄物収集運搬許可業者のパッカー車を対象に、ごみの展開検査を実施する。</li> </ul>		

分野	環境	施策	ごみ処理	
分野計画名称	一般廃棄物処理基本計画		行政経営戦略 参照ページ	P69

施策の展開（大項目）	2リユース・リサイクルの推進					
KPI (指標)	リサイクル率					
	推移の方向性	基準値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標値(令和7年度)
			結果	結果	結果	
増加	11.8%	12.1%	11.8%		13.8%	

中項目	1資源分別の徹底		分野計画参照ページ	P44
関連する主な事業	令和3年度 の取組実績		分析・考察	
<b>ごみ減量啓発事業</b> 環境業務課	<ul style="list-style-type: none"> <li>再生資源集団回収及び事業系紙資源回収を実施し、回収量は次のとおりであった。 <ul style="list-style-type: none"> <li>■再生資源集団回収の登録団体数：103団体（前年度比-2団体）</li> <li>■再生資源集団回収量：1,599t（前年度比-132t）</li> <li>■事業系紙資源回収量：325t（前年度比+25t）</li> </ul> </li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>再生資源集団回収の登録団体数は、こども会の解散等で登録数が減少傾向にあるため、未実施地域や新設マンションへの呼びかけを進める必要がある。</li> <li>再生資源集団回収量は、コロナ禍により、集団回収が消極的となっていることが要因で減少していると考えられる。</li> <li>事業系紙資源回収量は増加しているが、引き続き、新規登録者の拡大を検討し、広報や新規事業者への案内を実施していく必要がある。</li> </ul>	
<b>ごみ処理施設維持管理事業</b> 環境センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般廃棄物の直接搬入について、事前予約時及び搬入時に分別指導を実施し、資源ごみをリサイクルした。</li> <li>マットレスやマッサージ機等の不燃ごみを解体し、分別した金属くずを資源化した。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>未分別のまま一般廃棄物が直接搬入されるケースが散見されることから、引き続き一般廃棄物の直接搬入において、搬入前及び搬入時における分別指導を実施する。</li> </ul>	

中項目	2臨時ごみのリユース・リサイクル促進		分野計画参照ページ	P47
関連する主な事業	令和3年度 の取組実績		分析・考察	
<b>ごみ減量対策事業</b> 環境業務課	<ul style="list-style-type: none"> <li>臨時ごみ回収時に資源化可能物の分別を実施した。</li> <li>リユースのための民間サービス活用に向け、業者からの情報収集を実施した。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>臨時ごみに含まれる一定数のリユース可能なごみについて、民間サービスを活用するスキームの構築を検討し、リユース・リサイクルを促進する必要がある。</li> </ul>	

分野	環境	施策	ごみ処理	
分野計画名称	一般廃棄物処理基本計画		行政経営戦略 参照ページ	P69

施策の展開（大項目）	3分別・収集体制の構築					
KPI (指標)	1人1日あたりのごみ排出量					
	推移の方向性	基準値	令和2年度 結果	令和3年度 結果	令和4年度 結果	目標値(令和7年度)
	減少	997g	966g	968g		948g
KPI (指標)	リサイクル率					
	推移の方向性	基準値	令和2年度 結果	令和3年度 結果	令和4年度 結果	目標値(令和7年度)
	増加	11.8%	12.1%	11.8%		13.8%

中項目	1広域化に対応した収集・運搬体制の見直し		分野計画参照ページ	P48
関連する主な事業	令和3年度 の取組実績		分析・考察	
ごみ収集処理事業 環境業務課	・令和5年度からの広域化に向け、分別区分の見直しを行った。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・分別区分の詳細項目を決定し、早期に周知していく必要がある。</li> <li>・分別区分、搬入先が変更になることから、収集体制、収集時間、委託エリア等、効率的な収集・乗車体制を検討する。</li> </ul>	

中項目	2資源化ルートの周知・啓発		分野計画参照ページ	P48
関連する主な事業	令和3年度 の取組実績		分析・考察	
ごみ減量啓発事業 環境業務課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内11箇所<small>の</small>公共施設で小型家電の拠点回収を実施し、5,968個(前年度比+1,215個)を回収した。</li> <li>・リサイクル家電について、排出者自らが資源化ルートへ引き渡す仕組みを広報せつつで周知した。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小型家電の回収量については、令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響による公共施設閉館に伴い減少していたが、令和3年度はコロナ禍以前の水準の回収量となった。</li> <li>・拠点ごとの回収個数に大きな偏りが見られることから、特に回収個数が少ない地域での周知、啓発を強化する必要がある。</li> </ul>	

中項目	3適正処理困難物処理の周知・啓発		分野計画参照ページ	P48
関連する主な事業	令和3年度 の取組実績	分析・考察		
<b>ごみ減量啓発事業</b> 環境業務課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適正処理困難物を明記しているごみの分け方・出し方チラシを、新設マンション入居者に管理会社を通じて配布するとともに、市民課窓口で転入者に配布した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適正処理困難物については、チラシ等で明記しているものの非常に問合せが多く、広域化に向け整理を行い、周知徹底をしていく必要がある。</li> </ul>		
<b>ごみ処理施設維持管理事業</b> 環境センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般廃棄物の直接搬入について、適正処理困難物は搬入できない旨を事前に説明するとともに、専門の処理業者等に処分を依頼するよう指導した。</li> <li>・ごみビットへの搬入作業時に、目視やカメラによる監視を実施した。</li> <li>・一般廃棄物収集運搬許可業者のパッカー車2台を対象に、ごみの展開検査を実施し、適正処理困難物の搬入が確認されたため、適正分別及び収集を指導した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、処分方法の啓発や、適正処理困難物の搬入を確認した場合に指導を行うとともに、一般廃棄物収集運搬許可業者のパッカー車を対象に、ごみの展開検査を実施する。</li> </ul>		

中項目	4ごみ出し困難者への支援		分野計画参照ページ	P49
関連する主な事業	令和3年度 の取組実績	分析・考察		
<b>ごみ減量啓発事業</b> 環境業務課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談や収集時の感染症対策を徹底した上で、ふれあい収集を実施した。</li> <li>・新規申請件数は37件（前年度比+3件）で、利用件数が115件となった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も高齢化の進行に伴い増加することが想定されることから、広域化後においても確実な体制で実施ができるよう、収集体制を検討していく。</li> </ul>		

中項目	5不法投棄対策		分野計画参照ページ	P49
関連する主な事業	令和3年度 の取組実績	分析・考察		
<b>ごみ減量啓発事業</b> 環境業務課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内各所のパトロールを実施し、不法投棄報告箇所へ看板を設置した。</li> <li>・不法投棄家電リサイクル品はテレビ17台、洗濯機6台、冷蔵庫6台の計29台（前年度比+16台）であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不法投棄家電リサイクル品が増加しているため、校区担当職員と自治会の情報共有など連携を密にし、パトロールによる監視など、未然防止に向けた取組を進めていく必要がある。</li> </ul>		